

(別添4)

【伊是名村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」の内容並びにこれらに引き続く政府の議論等では、ICTの活用と少人数によるきめ細やかな指導体制の整備による「個別最適な学び」と、これまでも日本型学校教育において重視されてきた「協働的な学び」を一体的に充実し、子どもたちの資質・能力を育成することが求められている。本村においては児童生徒1人1台端末・校内ネットワーク、電子黒板などのICT機器を活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化し、児童生徒が学習問題及び課題などの解決に向け自らの学び方に合わせて1人1台端末の活用方法を選択することができる個別最適な学びの実現や、学び合いを通して多様な他者と協働した探究的な学びと協働的な学びを推進し、1人1人の「確かな学力」を向上させ「人間力」を育む質の高い学校教育の実現を目指す。

2. GIGA第1期の総括

伊是名村では、令和2年度にGIGAスクール構想第1期において児童生徒用タブレット140台と高速ネットワーク環境の整備を行い教育現場におけるICT授業がスタートしましたが学校での端末活用においては依然として課題が多くGIGAスクール構想の推進にあたり、解決すべき課題として情報モラルやICT機器の活用に関する教職員研修をこれまで以上に充実させ教職員のICT活用指導力等の向上を目指す必要があります。

3. 1人1台端末の利活用方策

校内研修の積極的な実施と活用により、全教職員を対象としたICT研修を取り入れ機器を活用した指導力の向上を図り1人1台端末を文房具として毎日使う環境の構築を目指します。

また、1人1台端末を活用し学習履歴や生徒指導上のデータ等を利活用することで、1人ひとりの児童生徒の特性や学習進度に応じた指導の個別化を進めるとともに、1人ひとりの児童生徒の興味・関心や意欲に応じた学習活動の機会を提供することで個別最適な学びの充実を図ることができる。

更に、1人1台端末の利用により、個々の家庭状況や学校教育になじめない児童生徒に対する学びの機会の保障を確保することができる。

このように学習を進めていくために1人1台端末の整備・更新により、児童生徒向けの1人1台端末環境を引続き維持することが必要不可欠である。